

竹って面白い

幸田町立大草保育園(愛知県額田郡)

[5歳児]

<事前の様子>地域の竹林で、子どもたちは自由に活動できることになった。保育者は"素敵な経験ができる"と確信し、 子どもたちの発想による「見て・触れて・感じて・発見」する体験を大切にした。筍掘りでは見た目で関心をもち筍を掘る(味 のことを考える大人の発想とは違う)。そのため、竹に関する興味が湧き、疑問に思ったり、発見したり、不思議な体験 をしたりする活動を展開することができた。

子どもの様子

読み取り

感じる 考 える

感じる・

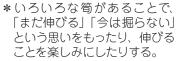
気付く

想像す

筍の土の上や下の様子、掘り出す難しさを体感する

- ・どの筍がいいのかわからずウロウロする。10~ 20cm 程見えていて皮が黒く毛並みのよい筍を掘
- ・土の固さや感触を感じながら掘る。どこをどの くらい掘るといいのか考え、悩みながら掘る。 筍を押したり引っ張ったり、折れないように注 意したりしながら掘り出す。
- · A 児は小さな筍はかわいそうだと思い、掘るのを止める。①

*掘り方や場所、深さ、力加減 など試行錯誤して掘る。



生長を感じる(背比べ) 5月

- ・筍掘りで親指の先程顔を出していた 筍の生長を気にして「大きくなった かな?」と観る。「筍大きくなったよ。 私のここ位」自分の膝を指差す。
- · A 児は 「こっちの見て、これは背と同 じ」いろいろな長さの筍を、自分の 体を使って測定する。「これは A 児 抜かして、でっかいねし竹の皮は着 ているけれど、すっかり大きく生長し た筍を、見上げている。
- ・〈2日後〉「この前より、大きくなっ たね。足だったのに、ここになった」 A 児は自分の腰の辺りを指差しなが ら、背比べする。「筍はどこが伸び ているのかな?」新たな疑問をもつ。

中に水がある(竹水発見) 5月

- のを見つける。「この水、どこ 「竹の蜜と思う」と話題になる。
- ・園長先生から竹水は飲めること を教わり「竹水って何?」「甘 い?」「飲んでみたい」と話す。
- ・〈6月〉竹水のある竹を揺らし、
- ・3・4歳児のために竹を2本持

*竹の生長の速さを感じる。

- 若い竹の穴に水が溜まっている から来たの?」「雨じゃない?」
- 耳を当てて聞く。聞いた音を思 い思いに表し、いろいろな音が することを感じる。舐めて「甘 いよ」「甘くて、青い味」「へん な味」「ちょっと甘い」と味わう。
- ち帰る。

* 「掘るの、かわいそう」とい う前回のA児の①の思いが きっかけになり、竹の生長ス ピードを感じられる活動につ ながった。



* "竹水"とは、「どんなふうに水 が溜まるのか?」「どの位溜ま るのか?」「どんな味がするの か?」とても楽しみにしていた。 そして、竹水を飲んだり音や水 の様子を見たりして、「水がど こからきたのか?」「なぜ竹水 が溜まったのか?」考えたがわ からなかった。

疑問 確 か

ø

親しむ

どこが伸びるの? (竹に描く)

- ・全員が好きな竹に思い思いに絵を描 く。竹という珍しい素材に絵が描け るので、どの子も大喜び、所狭しと 描く。A児も楽しんで描いている。
- ・後日確かめに行く。絵に変化がな く、「どこが伸びたのか」は、わか らない。

この水は何?(竹の不思議)

- ・「ん~。ただの水」「甘い」「苦 い」「優しい味」「竹の匂いがする」 「この間舐めた水より、甘くない ね」「もっと待つと、甘くなる んじゃない?」などと話す。
- ・竹水を2節分残しておくが、2 日後にはなくなってしまう。



<竹林で>

竹がスカートはいてる。 順番に何かがついて 竹の皮のお弁当

竹で太鼓 竹炭 釜体験

<保育園で> <竹水で>

竹の飯盒

お皿と箸

竹かんてん

流しうどん

お湯を沸かす

(お茶パックでこして) ご飯を炊く(ピカピカしている) 白玉団子(いつもと同じなのに、 ドロドロに溶けてしまう)

竹は不思議な植物で、子ど もたちは「面白い」という活 動を重ねた。筍は食すことが でき、水を貯め、生長してか らもいろいろな物に利用でき ることがわかり、楽しんだ。

「小さな筍はかわいそうだ」と思って選ばなかったり、大きさや皮の様子など興味を引く筍を試行錯誤して掘り出した りしています。幼児らしい発想や観察・感覚で筍堀りをし、土や筍の様子を体感しているので、その後も筍の生長や竹 になる様子に気付きや疑問をもち、幼児らしい発想で意欲的にかかわり「科学する心」が育まれる体験をしています。